

「波野中学校の鎌踊り伝承活動の取組」

1. 学校名	肝付町立波野中学校
2. 学年・人数	1, 2, 3年生 約8人
3. 日時・場所	(1) 練習の日時・場所 令和6年3月13日（水）～22日（金） 波野地区平後園集会場 ※水窪・津曲振興会、和田振興会も棒踊りを同時期に実施している。 (2) 発表の日時・場所 令和6年3月24日（日） 住吉神社、平後園集落内の民家、水神祠等
4. 伝承・活用に 取り組んでいる 郷土芸能、伝統 行事、伝統工芸 品について	(1) 名 称 鎌踊り（かまおどり） (2) 由 来 農民などの自衛術を踊りで表現したものとされ、その起源は戦国時代にあるという説がある。また、起源については諸説あり、「農耕儀礼」や「朝鮮出兵の凱旋祝賀」「薩摩藩が農民武装のため、外敵に対して身近なもので攻撃防御ができるように、武芸名踊りの形で仕込んだもの」とも言われている。 (3) 構成等 子供から大人まで着物姿に色鮮やかな襷をかけて頭に鉢巻をしめ、独特のリズムの唄にあわせて棒や鎌を振り舞う。薙刀と鎌が4人1組、短長の棒が6人1組で棒や鎌を手にとって踊る勇壮で伝統的な踊りである。 ※参照：肝付町 HP「棒踊り・鎌踊り」 肝付町観光協会 肝付町観光協会「きもつきの棒・鎌踊り」
5. 文化財伝承・ 活用の取組にお いて地域との連 携や工夫した点 等	令和5年度には、本校文化祭で地域の方々のご指導を受けながら鎌踊りを披露した。練習や話し合いには学校職員も参加しているが、地域から学校への協力要請はない。その理由として、集落ごとに唄や踊りが異なるため、学校への協力要請が難しいと考えられる。今後は、児童生徒数の減少が見込まれることから、学校として何らかの支援ができないか模索している。
6. 取組の様子 （練習状況、発 表の場等）	  練習の様子 当日の様子
7. 感想・意見 (参加児童生 徒・保護者・ 保存会・教員 等)	【生徒】 ・練習を通して、地域の歴史や文化について学びました。本番では緊張しましたが、大勢の方々に見てもらえて達成感がありました。この伝統を引き継いでいきたいと思いました。 【保護者】 ・子供が家で練習している姿を見て、私自身も改めて鎌踊りに触れる機会になりました。こうした伝統文化の取組が続いてほしいです。（保護者）